



創業100周年を迎えました。
 お客様、株主の皆様をはじめ
 ステークホルダーの皆様のおかげであり、
 心より感謝を申し上げます。
 次の100年も持続的に成長していくための
 経営基盤の強化に取り組んでまいります。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第155期第2四半期(2019年4月1日~2019年9月30日まで)における経営環境は、消費スタイルの急速な変化に伴うEC市場の拡大などによる小口貨物の増加基調に加え、国内労働需給の逼迫など、厳しい状況が継続しています。

このような状況のもと、ヤマトグループは高品質なサービスを提供し続けるため、「働き方改革」を経営の中心に据え、「デリバリー事業の構造改革」、「非連続成長を実現するための収益・事業構造改革」、「持続的に成長していくためのグループ経営構造改革」の3つの改革を柱とする中期経営計画「KAIKAKU 2019 for NEXT100」に基づき、ヤマトグループが持続的に成長していくための経営基盤の強化に取り組んでいます。

デリバリー事業においては、収益力の回復に向けて、プライシングの適正化や新規顧客への営業を推進するとともに、コストコントロールの強化に取り組みました。

ノンデリバリー事業においては、グループ各社の強みを活かした既存サービスの拡充に取り組むとともに、グループ全体でアカウントマネジメントを強化し、お客様の課題解決に当たるソリューション営業を積極的に推進しました。

これらの結果、当第2四半期(累計)の連結業績は、営業収益はデリバリー事業の構造改革を推進した中で、宅急便単価が上昇したことなどにより前年同期に比べ増収となりましたが、営業利益については、集配体制の構築に向けて増員などを進めたことで委託費は減少したものの、人件費が増加したことなどにより前年同期に比べ減益となりました。

第3四半期以降も引き続き、「デリバリー事業の構造改革」を推進し、業務量に応じたコストコントロールに注力しつつ、プライシングの適正化と取扱数量の拡大に取り組むとともに、グループ全体でアカウントマネジメントを強化し、お客様の課題解決に当たるソリューション営業を推進してまいります。

次の100年は、環境など世界が直面する社会課題に対し、企業の関わりや課題解決がより重要になると考えます。ヤマトグループは、持続的に成長していくための経営基盤の強化を目的とした中期経営計画「KAIKAKU 2019 for

決算ハイライト	前第2四半期 (単位:億円)	当第2四半期 (単位:億円)	増減 (単位:億円)	伸率
営業収益	7,891	8,001	↑ 109	1.4%増
営業利益	234	62	↓ 172	73.5%減
経常利益	227	27	↓ 200	88.0%減
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	99	△34	↓ 134	—

NEXT100」に基づき、働き方改革をはじめとした構造改革を推進するとともに、持続的な成長と持続可能な社会の実現の両立に向けたESGの強化、具体的には、グループガバナンス、安全施策や環境施策、地域活性化に向けた取組みなどを強化してまいります。

ヤマトホールディングスは、創業100周年を迎えました

1919年11月29日、大和運輸株式会社として東京・銀座で創業した当社は、創業100周年を迎えました。これもひとえにお客様、株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様のおかげであり、心より感謝を申し上げます。

荷物を運ぶ手段が牛馬車、荷車であった当時、創業者・小倉康臣は自動車の将来性に注目しました。そして、トラックが必ず貨物輸送の主役になるという強い信念のもと、日本全国でわずか204台にすぎなかったトラックの内、4台を購入してトラック運送事業を起こしました。

その後100年という長い道のりには、大きな節目が三つ

ありました。一つ目は1929年、日本で初めての路線事業として、東京～横浜間で定期便を開始したこと。二つ目は1976年に宅急便を発売したこと。三つ目は2013年に発表し、現在も取り組んでいる「バリュー・ネットワーキング」構想の推進です。また、100年の歴史を支えてきたものは、創業者から受け継がれてきたイノベーションを起こすチャレンジ精神と、創業者が制定した「ヤマトは我なり」「運送行為は委託者の意思の延長と知るべし」「思想を堅実に礼節を重んずべし」の社訓です。

時代が変わり、世の中も大きく変わる中で、当社はこの先の100年もお客様の生活に寄り添い、またお客様のビジネス発展に寄与することで、豊かな社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後もヤマトグループに、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員

長尾 裕

記念誌『100年のあゆみ』を 発行しました。

このたびヤマトグループ創業100周年記念誌『100年のあゆみ』を発刊いたしました。『100年のあゆみ』は、当社の歴史を時代とテーマに分けてそれぞれのエピソードを物語として読みやすく編集しております。株主の皆様、当社をより深くご理解いただきたく、謹呈申し上げます。ぜひ、ご一読ください。



- 1919年 東京・銀座で創業
- 1923年 三越呉服店と商品輸送の契約を締結
- 1929年 東京～横浜間で定期便を開始
- 1960年 東京～大阪間の路線運行を開始
- 1976年 「宅急便」発売
- 1983年 「スキー宅急便」発売
- 1997年 「宅急便」の全国ネットワーク完成
- 2007年 個人向け会員制サービス「クロネコメンバーズ」開始
- 2013年 「バリュー・ネットワーキング」構想を発表
総物流ターミナル「羽田クロノゲート」の稼働開始
- 2017年 「関西ゲートウェイ」を開所し、関東・中部・関西の主要都市を繋ぐ革新的なネットワーク基盤を構築
- 2019年 創業100周年

